

兵庫医科大学 研究実施のお知らせ

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	糖尿病患者における尿中 N-アセチル-β-d-グルコサミニダーゼ排泄率と持続グルコースモニターから得られた血糖管理指標との関連 [倫理審査受付番号：第 4186 号]
研究責任者氏名	小山 英則
研究期間	2022 年 9 月 20 日 ~ 2024 年 12 月 31 日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	疾患名：糖尿病/ 診療科名等：糖尿病・内分泌・代謝内科
	受診日：西暦 2016 年 12 月 1 日～2022 年 7 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の種類	試料等 カルテ情報 アンケート その他（CGM、尿検査の結果）
研究目的・意義	<p>糖尿病腎症は糖尿病細小血管合併症の一つですが、尿中アルブミン排泄率などを評価し、糖尿病腎症の病期診断を行います。糖尿病合併症を予防するために良好な血糖管理を維持することが必要となりますが、血糖管理状況を評価するために持続グルコースモニター（CGM）を使用することがあります。近年、糖尿病患者においてアルブミン尿の増加を伴わず、腎機能低下に至る症例が増え、尿細管障害の関与が考えられています。また、尿細管損傷マーカーの一つである尿中 N-アセチル-β-d-グルコサミニダーゼ（NAG）排泄率が糖尿病腎症の発症を早期から予測する指標であることが報告されています。糖尿病性腎症の病態形成は糸球体障害と考えられてきましたが、血糖管理が尿細管障害において重要な役割を果たし腎機能の悪化を予防する可能性があります。</p> <p>しかし、尿中 NAG 排泄率と血糖変動との関連についてはいまだ不明な点が多いことが臨床上の課題となっています。本研究は、尿中 NAG 排泄率と CGM から得られた血糖管理指標の関連について検討します。</p>

研究の方法	診療録に記録された病気に関する情報(体重、投薬内容、血液・尿検査結果など)や CGM の結果などを収集し、CGM から得られた血糖管理指標と尿中 NAG 排泄率との関連について調査します。
個人情報の取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した(匿名化といいます)上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
本研究に関する連絡先	診療科名等：糖尿病・内分泌・代謝内科 担当者氏名：楠 宜樹 [電話] (平日 9:00 ~ 16:30) 0798-45-6592